

だんないの道

第55号



2023年4月13日発行

発行者:NPO 法人 CIL だんない
代表者:美濃部裕道
連絡先:〒529-0423
滋賀県長浜市木之本町千田681番4

TEL :0749-50-3639
E-mail:info@cil-dannai.jp

| | | | |
|--------------------|-----------|------------------|-----------|
| 代表あいさつ | P1 | 大学生になって | P3 |
| だんないのヘルパーとして私が思うこと | P3 | ヘルパー七年をへて | P4 |
| 活動報告 | P6 | ちょこっと紹介! だんないブログ | P9 |
| ホームページをリニューアルしました! | P15 | 編集後記 | P16 |

代表あいさつ

待ちに待った WBC (野球世界大会) を、1月に購入したヨギボー (編集者注:アメリカで誕生したビーズソファのブランド) に座って観戦し、侍ジャパンの活躍にこころおどる日々が続きました。また、大阪で行われた阪神タイガースとの壮行試合には、運良くチケットが当たって友人と観にいったところ、なんと大谷翔平のホームラン2発を生で見ることができました!そして終わってみれば、決勝戦でアメリカを接戦で制して見事に優勝と、感動しまくりの3月でした。

また、3月はもうひとつ、一大イベントがありました。4年ぶりの開催となる周年記念シンポジウムです。とよなか国際交流協会職員の三木幸美さんの基調講演、木之本町千田前民生委員の本田修さん・NPO 法人 BRAH=art. 理事長の岩原勇氣さん・美濃部の3人によるパネルディスカッションで、「多様性のまちづくり」について深め合うことができました。「多様性」を言葉だけで終わらないようにするためには生半可な意識では難しいと感じましたが、だからこそ、いろいろな立場の方々とかわりを持ち、お互いを理解しようとする気持ちをそれぞれが持ち続けることが重要と思いました。この気持ちを胸に、障害問題に限らず、あらゆるマイノリティー (少数派) の問題や、人と人をつなぐコネクター活動に取り組もうと思いを新た



にしました。コロナ禍でできなかった、久しぶりの大型イベントを終えての達成感は、とてもすがすがしいものとなりました。

さて、ここ最近、言語障害について考えることがあります。自立生活センターと言えば「当事者主権」・「指示介助」ですが、それが容易にできるのは、弁が立つ人や論理的に話せる人ではないかと思うことがあります。いわば、障害者の中でも「できる人間」に絞られてしまう気がします。よく「CILのヘルパーは、当事者の言うことさえやっていたらいいから、誰でもできる」と耳にします。私も、そのようなことを言うてきた側です。もちろん、原理原則的に言うとは間違っていないかもしれませんが、でも、それですべてがうまくいくかという、必ずしもそうではない気がします。言語障害や知的障害、精神障害がある人には、指示介助だけでは限界を感じることもあるのではないかと思うようになりました。

実際、私も脳性麻痺の言語障害者ですが、年を取れば取るほど発語に体力を費やすようになり、指示介助だけで生活を送ることにしんどさを感じるが出てきました。でも「だから、指示介助はどうでもいい」とは思いません。むしろ、こういう時に指示介助の真価が問われる気がするのです。「指示介助」、それは私の中で、「どこまでも利用者と向き合うこと」が前提となるポイントだと考えています。利用者から発するすべてのシグナルが「指示」となりえるからです。言葉だけではなく、目線・表情・汗・筋緊張など、ほとんどが「指示」となりえます。だから、利用者に注目していないと、その「指示」を見逃してしまいます。そして、その「指示」に気づけたとしても、その受け取りが間違っている場合があります。

その時に大切なポイントが「確認すること」だと思います。「確認すること」さえ怠らなければ、利用者の思いに反する介助にはなりえないはずですが、仮に、間違った受け取りだったとしても、訂正してもらうことが可能だし、「主導権はあなたですよ」というお互いの意識づけにもなります。

「どこまでも利用者と向き合うこと」と「確認すること」、言語障害などにより指示がうまく出せなかったとしても、その2つを怠らなければ「当事者主権」は成り立つはずですが、言葉では簡単ですが、ヘルパーとして長く働けば働くほど（慣れれば慣れるほど）、襟を正して実践するのは難しい。これこそ、「専門性」ではないかと思う今日この頃です。

そのような「専門性」の追求を、だんないとして襟を正しながら取り組んでいきたい。ヨギボーに座りながら、こんなことを考え、思いを改めていた次第です。私自身、数少ない言語障害を持つ「CILの代表」として、今まで続けてさせてもらえたことに感謝と自覚を

持ちつつ、その重みについて、これからもボヤキ続けていきたいです。この度は長々とすみませんでした(笑)

ところで、先月、初の「だんないビール部」を立て続けに2回も開催しました！「今日も一日お疲れ生！」で乾杯しました。今から3回目が待ち遠しいです！



美濃部 裕道 (みのべ ひろみち)

大学生になって

山本 陸（やまもと りく）

1. 友人関係

高校時代と大学生との違い、高校では手伝ってもらいましたが少し無理をさせている場面があるという感じがありました。大学では手伝える所はフォローしていただき出来ない場面は、はっきりと言ってもらえるので僕自身も手伝ってもらえる所がわかりやすくなりました。
これが付き合い方の違いでした。

2. 高校と大学でのサポート

高校の時、学校側では勉強面や生活のサポートをしてもらう事が難しくそこで「CIL だんない」という所がサポートをしていていました。

大学では、先生や支援の方が授業や生活面をサポートしてもらいながら大学生活をおくっています。

3. 高校から大学に入ってからの変化

高校生から物事を決める前に他の人に相談した時、返された答えをそのまま受け取ってしまい自分で考えを言えなくなっていた。

でも大学生になって自分で考える力を身につけて意見をしっかり伝える事が出来、そこから自信を持って発言が出来るようになりました。

大学生活が厳しくても4年後に就職を目指して苦手なことにチャレンジし経験を積んでいきたいと思えます。

職員リレートーク

だんないのヘルパーとして私が思うこと

福井 千尋（ふくい ちひろ）

今年の3月4日、だんない12周年記念シンポジウムが開催されました。今回4年振りということで、私はシンポジウム初体験でした。当日まで少し緊張していたのですが、終わったあとは「楽しかった！」という気持ちと達成感でいっぱいになりました。講師の方々のお話を聞き、たくさんの方に来ていただけて、とても充実した1日でした。次回のシンポジウムでは、今回担当した役割（受付や司会など）を変えてみても面白そうですね、と美濃部さんとお話しました。それも良い経験になると思います。

そして、私がだんないに入って、もうすぐ丸3年が経とうとしています。

入った当初はコロナ禍だったこともあり、生活介助が多かったのですが、一昨年からはそれに加え、社会部の一員として会議や裁判傍聴、研修に講座と色々な場所に同行するようになりました。どのような姿勢を取ると良いのか戸惑うことも多々ありますが、日々様々な場面で色々なことを考え、学ばせていただく機会になっています。

最近仕事に慣れてきた今だからこそ、より襟を正し、介助に取り組むことが自分自身の課題だと思うようになりました。

指示介助の原則を大事に、指示を貰っている時もそうでない時も、介助行為の際は確認や声かけ、自分の動作を口に出してから行う。利用者さんのその日のテンションに合わせて、生活のリズムを乱さないよう気を付ける。外出同行の際は車移動が多いのですが、目的地までのルートも（たとえ行き慣れた場所でも）毎回確認を取ってから動く。どれも当たり前のことですが、日頃から意識していないと、つい忘れてしまったり、怠ったりしてしまう部分です。こうしたことが事故や思い込みを防止するだけでなく、当事者に主導権を持ち続けて貰うために大事なことだと感じます。たとえ状況的に指示を貰うことが難しい時も、主導権を奪わない関り方を考えながら介助にあたりたいです。

介助に入っている時間は、私にとっては仕事ですが、利用者さんにとっては自分の生活や活動の時間です。だんないで長い時間を共に過ごさせていただきからこそ、気の置けない友達のような距離感ではなく、介助を通して良い関係を築いていけるよう、自戒の念を持ち続けたいです。

今後だんないのヘルパーとして働いている限り、基本を怠らない介助を続けていこうと思います。

ヘルパー七年をへて

佐藤 保夫（さとう やすお）

「湖北の障害者の、困っている人の力になっていきたい。」

美濃部さんのそんな想いを聞いたのは、七年前にだんないに勤めてしばらくしてからのことでした。

「CIL をやっていこうと思ったら、都市部でならヘルパーも集まりやすいし、交通の便もいいし、何かとやりやすい。

でも、あえて、不便な湖北の木之本に、根を張っていきたいんです。」

条件が悪いからこそ、それで困っている人がいるからこそ、必要なんだという熱い思い。

美濃部さんの気持ちの奥には強いものが流れているんだなあ、とその時感心したことが、今でも印象に残っています。

あれから七年。

中ではいろいろなことありました。

こうした事業をやっていくのに、例えば内部での対立や、ごちゃごちゃやもめごとに対して、障害当事者はどのように対処していくのだろうか。

何か独特なものがあるのだろうか。

私の関心のひとつは、そこにありました。

確かにいろいろな切り口を勉強させてもらいました。

でも、全体的に思うことは、ああ、自分がたどってきたものと同じなんだなあ…、ということ。

激しい意見の対立があり、気持ちのずれがあり、意固地さも幼さもあり。

迷いとまどい、思い悩み、失敗を重ね、繰り返し、そしてその中から立ち上がるしかないというのは、みんなみんな同じなんだなあ、ということ。

そんな当たり前の道をだんないもたどってきたのだと思います。

ひと頃に比べると、だんないは当事者職員数もうんと減りましたし、ヘルパー数も少なくなりました。

今は、ぐっとスリムになりました。

基盤だけでなく、雰囲気さえもスリムになったように思います。

そんな中、美濃部さんは言います。

「本当にやりたいと思っていたことが、今、やれているんです。」

やりたかったこと。

湖北の困っている人達の手助けになれること。

だんないがその港になれること。

確かに、今のだんないは、湖北のいろんなところと繋がって、地道に関係を作り上げようと努力しているように見えます。

そしてそれは「障害者」という枠を超えて、共生社会を目指し、多様性を認め合おうとするとても大きく大きな方向に向かって。

しかも、華やかに、派手にではなく、確実に堅実に、というところに私は好感が持てるのです。

具体的な事例をひとつだけ。

様々な事業所を利用しながら生活を組み立てている、外部の方がいます。

だんないからもヘルパーが入っています。

その方がコロナに感染しました。

事業所が利用できなくなりました。

でも、何らかの支えがないとその方の生活は成り立ちません。

そんな中、だんないはヘルパーの派遣の継続を決めました。

実際に入るヘルパーにも、何かと負担は大きかったと思います。

加えて、「それでもヘルパーを送るんだ。」という判断。

この、事業所のトップの決断がなければ、これはできなかったことです。

こうした強い気持ち、記憶に残しておきたいと思います。

ケースのひとつひとつを通して、いろんな人、様々な部署、たくさんの機関と関わりながら、湖北全体の基盤を底上げしていくこと。

だんないの目標はそこにある、と私は理解しています。

私は、年を取り、体力の衰えも感じ、ヘルパーが少ない時にお手伝いをさせて頂く程度の関りとなってしまいました。

でも、だんないでヘルパーをさせてもらうということは、だんないのそうした想いの実現を支えることなんだ、と。

そのことを自分の仕事の「芯」にしたいと思っています。

最後に、ひとつだけ、これは。

草が伸びてきているのを目にしたら、「草引いところ。」と思う気持ち。これ、大事ですよ。誰かがしてくれるだろう、ではなく、これも自分の仕事なんだと思える気持ち。大事ですよ。

大谷選手も言っています。

「ゴミを拾うことは、福を拾うこと。」

大谷選手は、こうやって自分の気持ちにエンジンかけていると思うのです。

自分が行動に移せるように。

草引きだけでなく、いろんなことに目を配る。

気持ちにエンジンかけておいて、「自分のこと」として動けること。

決して誰かが、ではなく。自分が。

そういうこと、仕事の上で、とても大切ですよ。

活動報告

| | |
|------|---|
| 1月5日 | 書初め大会 |
| 10日 | 啓発活動 in 大津駅 スーパーフットボール SHIGA インクルーシブフットボール会議 in 県庁 |
| 11日 | 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議 |
| | だんないの道発行 |
| 13日 | 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者事務局会議 |
| 14日 | 統括所見研修 |
| 16日 | 職員研修 ボディーメカニクス研修 |

| | |
|------|--|
| | Rさん会議 |
| 17日 | 企画会議 |
| 19日 | 富永小学校ボッチャ講演会 |
| 20日 | 生き生きサロン |
| 21日 | みんなでつくるスナックO |
| 24日 | 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達障害者支援部会 |
| 25日 | 障大連虐待防止研究会 |
| 26日 | 滋賀県ユニバーサルデザイン推進検討分科会 |
| 30日 | 社会環境部会 |
| 2月1日 | 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議 |
| | ピアカン in はたくら |
| 2日 | 大原小学校講演 |
| 3日 | 長浜氏地域連携ネットワーク会議 |
| 7日 | 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護部会事務局会議 |
| 8日 | ライフステージ部会 |
| 9日 | 障害者就労定着推進報告会 |
| 10日 | スーパーフットボール SHIGA インクルーシブフットボール会議(オンライン) |
| 11日 | 『発達に支援を要する子の働くことや自立のために「今」一緒にできること』 研修会 |
| 13日 | 生活の充実部会 |
| 14日 | 企画会議 |
| | 啓発活動(膳所駅) |
| 15日 | 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 運営委員会 |
| 16日 | 長浜市地域福祉活動計画会議 |
| | 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護医療ケア検討部会 |
| 17日 | いきいきサロン |
| | 長浜市障害福祉会議傍聴 |
| 20日 | 元気マンサロン |
| 21日 | しゃべり場 |
| 22日 | 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達障害者支援部会 |
| 24日 | 長浜市ヒアリング |
| 25日 | みんなでつくるスナックO |
| 26日 | リユースターオンライン会議 |
| 27日 | スーパーフットボール SHIGA インクルーシブフットボール会議 in 県庁 |
| 28日 | 障害者芸術文化活動支援センター協力委員会 |
| | 長浜市地域福祉計画推進委員会 |
| 3月1日 | 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議 |
| 2日 | 意思決定支援研修 |
| 3日 | 長浜市成年後見・権利擁護関係者協議会 |
| | ピアピア |
| 4日 | だんない12周年記念シンポジウム |

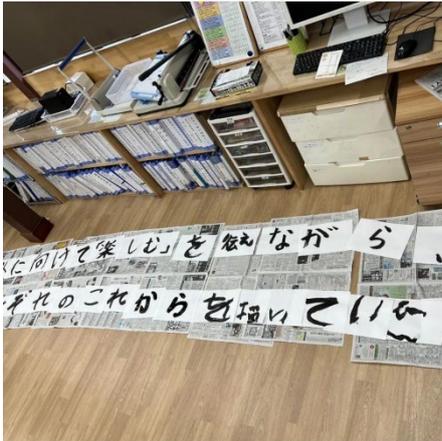
| | |
|-----|---|
| 10日 | 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進分科会 放課後児童デイサービス連絡協議会 |
| 11日 | ぼてとファーム評議委員会 みんなでつくるスナックO |
| 13日 | 米原市権利擁護センター運営委員会 |
| 14日 | 企画会議 啓発活動(近江八幡) |
| 16日 | 滋賀県ユニバーサルデザイン推進検討分科会 |
| 17日 | 生き生きサロン |
| 19日 | スーパーフットボール SHIGA インクルーシブフットボール |
| 20日 | 元気マンサロン |
| | 滋賀県手話言語や情報コミュニケーションに関する条例検討専門部会傍聴 |
| 22日 | 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達障害者支援部会 |
| 23日 | ぼてとファーム地域交流事業 |
| 24日 | 滋賀県旧優生保護法情報公開請求訴訟裁判傍聴 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 全体会議 |
| 25日 | 「ボッチャ」街づくり企画 ～学校の「あたりまえ」を問い直す～研修会 |
| 27日 | 滋賀県共生社会づくり委員会 「地域福祉の新たな視点」プロジェクト |
| 28日 | 長浜市社会福祉協議会評議員会 |
| 30日 | ネイルサロン |



🌸 4月1日 木之本町黒田の河川敷でお花見をしました 🌸

しょうかい ちよこつと紹介！ だんないブログ。

npodannai



npodannai 2023年の活動がスタートしました。

初回の活動は書初めです。

12月に決めた今年のスローガン、『外に向けて「楽しむ」を伝えながら、それぞれのこれからを描いていこう』を、今日いたメンバーで一字一字書き上げました。

注目されると手（足）が震えましたが、それぞれ味のある字を書くことができました！

それで終わりかと思いきや、サプライズで今月誕生日の木村徹さんと中川佑希のパーステイブントを行いました。

みんなのおかげで、サプライズ大成功！

幸先いい一年の出だしとなりました。

皆さんにとって、良い年になりますように☆



いいね！: [redacted] 他

npodannai 1月10日、さべかいピワイチ企画を大津駅前で行いました。今回は県の障害福祉課の職員さんにもご協力いただきながら、ティッシュ配りをしました。木之本より寒いはずと思って大津でやったのですが、むしろもっと寒くて手がかじかみました。県庁の方もティッシュをたくさん持ってきていただいたので、合わせると120は配布できたと思います。自衛隊の啓発活動とも重なるなど、いつもとは違うことが多かったのですが、たくさん配布することができてよかったです。

npodannai



npodannai 1月14日、大阪弁護士会館に「大阪弁護士会・障害と人権全国弁護士ネットワーク共催シンポジウム 優生保護法のこれまでとこれから～なぜ放置されてきたのか...「優生」が私たちに問い続けるもの～」を聞きに行きました。

かなり盛りだくさんな内容で、優生保護法違憲訴訟原告の方の生々しい声や、利光恵子さん・藤井克徳さんの基調講演、実際に優生手術を行っていた精神科医のビデオメッセージ、そして最後にパネルディスカッションがありました。

優生保護法の問題点や、歴史的背景、今も続く影響、今後の焦点などが議論され、これまで大津の情報公開請求訴訟しか行けなかった私にとって、全体的に理解できる貴重な時間でした。

優生保護法は終わっても優生保護問題は終わっていない。

むしろこれから、「やまゆり園事件」や、北海道で起きた「不妊措置」問題のように、私たちの中にある無意識の優生思想が根源となる出来事は次々と起こる今があります。

その問題に真剣に向き合い、CILとして取り組む必要性をひしひしと考えさせられました。

また、障害者自身が子どもを産み、育てられる社会システムの構築も取り組むべき課題として位置付けたいと思いました。

今回は、とにかくたくさんの方を考えたかったです。

主催者の方々、ありがとうございました。



いいね! : [redacted] 他
 npodannai 1月16日、介助者向けボディーメカニクス内部研修を、だんないで実施しました。普段あまり意識しにくい基本を改めて確認する機会となりました。当事者も介助者もお互いに楽な介助は、長く働く上でとても大切なことです。みなさん、基本を忘れないようにしたいものです。でも、もっと大事なのは、基本はありながらも常に当事者に「訊く姿勢」だと思います。



いいね! : [redacted]
 npodannai 1月21日、マルチスイッチ主催の第2回「みんなでつくるスナック〇(わ)」というイベントが長浜駅近くのカイコーであり、お客さんとして参加しました。今回も「寛子ママ」として、着物を着て接客されました。初参加の方も多く来られ、いろいろなお話をしながら交流できました。また、バックヤードとして、たくさんの協力者もおられたので、介助体制が不足することなく大満足でした。ドリンクをのみながらのお話は、やっぱりイイものですね! もっともっと「わ」が広まればと思います。



いいね! : [redacted] 他
 npodannai 1月19日、富永小学校ポッチャ講演がありました。低学年の子どもさんの親子活動にポッチャの魅力を伝えに行きました。プレイするたびにうまくなって、子どもさんの上達の早さに驚きました! 可愛さにも心揺さぶられました💎帰る際も可愛く手を振ってくれました💕また呼んでほしいです!



npodannai 2月2日、米原にある大原小学校へ講演に行かせていただきました。
 9時10分からポッチャを含む3時間というたいとなスケジュールでしたが、寒さに耐えながらなんとかやりきりました。
 子どもさんはかなり元気で、社会モデルのお話にも反応よく答えてくれていました。
 最後の質問もポイントを押さえたすどい質問ばかりで嬉しかったです。
 ポッチャのスーパーショットが全く見せられなかったのが唯一心残りです。
 もっと技術を磨かなければ・・・

npodannai



いいね! 他

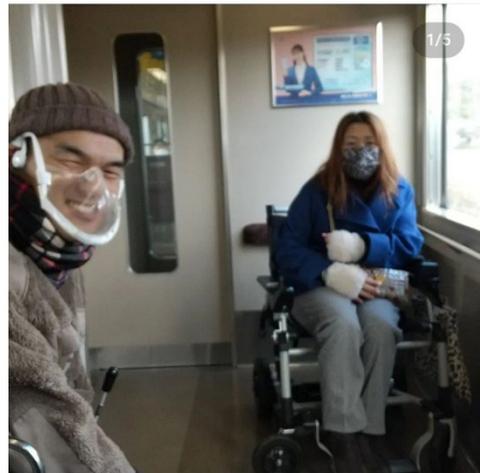
npodannai 2月10日、木之本にあるコマイテイという古民家カフェへバリアフリー調査 (ただのサボり? 笑) に行きました 🍴

カレーとコーヒーとスイーツのセットをいただきました。味わい深い上品なお味に、しっとりした気分になりました。

木村さんご夫婦とゆったりお喋りできました 🍵

これから美濃部の隠れ家になりそうです 🎵

npodannai



いいね! 他

npodannai 2月14日、大津市膳所駅で啓発活動さべかいピワイチを行いました。

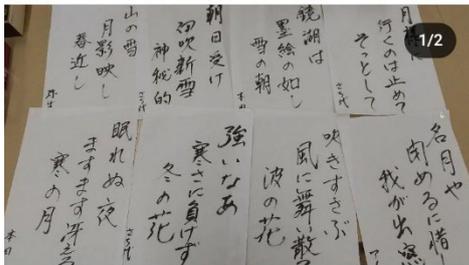
時折、雪が降りしきる中での啓発活動でしたが、この試練に耐えようと力を合わせて乗り切ることができました。

学生さんや会社帰りの方々を中心に100名以上にメモ帳やティッシュを配布することが出来ました。県庁の方もたくさんのティッシュを持って駆けつけてくださり、最大限に活動出来ました。

啓発活動の前にはOh! Me大津テラスで企画会議 (たにけんはオンライン参加) も行い、充実した一日となりました。

3月は近江八幡で行う予定です。次はどんな試練が待ち受けているか今からびくびくしています。

npodannai



いいね! 他

npodannai 2月17日、生き生きサロンが開催されました。

今回もポッチャや川柳や脳トレなどをし、参加者の皆さんが生き生きとされておられました 😊

次回はだんだないからも川柳をいくつか用意できたらなと思います!

次回は3月17日 (金) で川柳のお題は「梅」「生」「立」です 🎵

npodannai



いいね! 他

npodannai
HORIZON_0001_BURST20230220141623280_COVE
R_1.JPG(657.2KB)保存

2月20日元気マンサロンがありました。オンラインで各所をつなぎ、いつものように体操をされました。その後は4月以降の活動についての話し合いをされていました。今後も地域の場となり多様性の価値観が広がるプラットフォームになればと思います



npodannai



npodannai 2月21日、だんない初企画！しゃべり場を開催しました。

CILだんないに関わるようになったきっかけが前半、後半は自立生活について思うことをそれぞれ当事者が話しました。普段を思い返すことがないことをそれぞれが口にするので、改めて活動に対する思いが湧いてきました。

第2弾、第3弾のしゃべり場を開催すべく企画していきたいです。



npodannai



いいね！ [redacted]

npodannai 2月25日、みんなでつくるスナック〇が開催されました！

3回目となる今回はサイコロトーク企画を取り入れたお話が盛り上がる工夫があり、最高に楽しめる時間となりました！

その後は視覚障害の聴覚障害の方がお話しされる場面もあり、普段の日常ではなかなか見られない光景がありました💖

次回は3月11日、どんな場面が見られるか今から楽しみです！🍷



npodannai



npodannai 3月4日、12周年記念シンポジウムを開催しました。

4年ぶりとなるシンポジウムで準備や当日の流れなど忘れてしまって不安だらけでしたが、50名ほどの参加があり、皆様のご協力もあって成功裏に終わりました。

三木さんのご講演、本田さんと岩原さんと美濃部のパネルディスカッションで、「真の多様性」というものを少し深掘りできた気がします。

それとともに、言葉だけで終わらないようにするためには、生半可な意識では難しいことも感じました。だからこそ、いろいろな立場の方々とかかわりを持ち、お互いを理解しようとする気持ちをそれぞれが持ち続けることが重要と思いました。

その気持ちを胸に、障害問題に限らず、あらゆるマイノリティー（少数派）の問題や人と人をつなぐコネクター活動に取り組みようと思いを新たにしました。大きなイベントをしなくなったコロナ禍で、最近あまり感じなかった「チームだんない」を感じることができたのも、とても新鮮でした。

やっぱり「外に向ける」っていいな～
登壇者のみなさん、参加者のみなさん、本当にありがとうございました！



npodannai



いいね! 他

npodannai 3月17日生き生きサロンが開催されました。

美濃部、谷口が、相談のため外出していましたが、山本が代わりに参加してくれました。

来月の開催日は4月21日

お題「花・入・友」です。



npodannai



いいね! 他

npodannai 3月19日、スーパーフットボールSHIGAインクルーシブフットボールが開催されました。障害者スポーツの競技人口の拡大や、障害者スポーツに対する理解促進を図るため、JFLに所属するレイラック滋賀FCのホーム会場で、障害者サッカーの体験会を開催しました！

だんないが事務局を担うリユースターとしても電動車椅子サッカーを体験してもらい有意義な時間でした！🚗⚽



npodannai



npodannai 3月11日、みんなで作るスナック〇が開催されました！

4回目の今回は、席に着いてから注文までが長いことや、システムがややこしいといった前回までに出た反省点が改善され、ママやマスターとお話することに集中できる、よりスナックらしい時間となりました。初めての方もおられたり、年齢層も幅広かったりと、〇(わ)の広がりを感じます！

4月からは、またどんなふう展開されていくのか、楽しみにしています☆



npodannai



いいね! 他

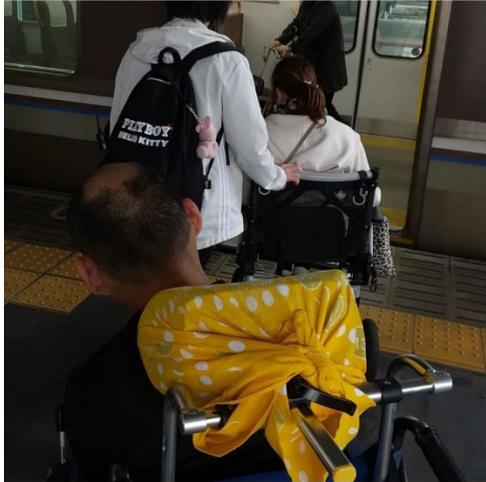
npodannai 3月25日、マルチスイッチ木村さんと、だんないとできなみタウンで行われた「ポッチャ」まちづくり企画に参加しました👏

今回も前回に引き続き大人から子どもまで多くの方々にポッチャを体験して楽しんでもらえました！

今年もポッチャが熱い💖👏



npodannai



いいね！: chisatomoteki、他

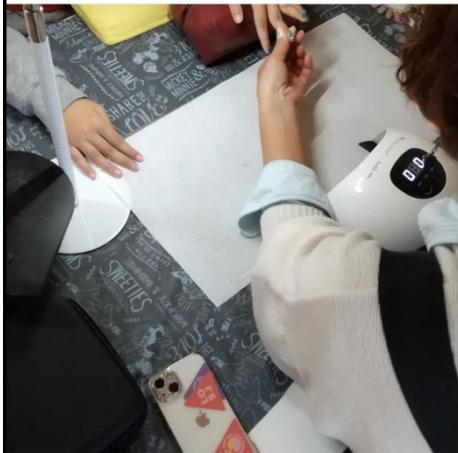
npodannai 3月24日、大津地方裁判所に滋賀県旧優生保護法情報公開請求訴訟裁判の傍聴をしました。

本日、結審の言い渡しがあり一部勝訴、全面公開にはなりません。具体的には、性別・年齢・生活状況については公開判決となり、親族の意向・医師名・異性関係については個人の特定や、権利侵害となる恐れがあるとされ、非公開判決となりました。親族の意向や医師名を非公開とすることは、優生手術が行われた理由や背景などを知るためには不可欠で、それが公開されないという判断に至ったことは納得しがたいです。

しかし、情報公開を行政に投げかける第一歩にはなったと思います。今後も推移を注視していきたいです。



npodannai



npodannai 3月30日(木) マルチスイッチさんがネイルサロンを開催されました。

だんないでは12月以来の久しぶりの開催で、予約もすぐにうまったようです。

参加して下さったみなさんが綺麗になった指先を見て喜んでおられました。

次回は、4月23日開催です。

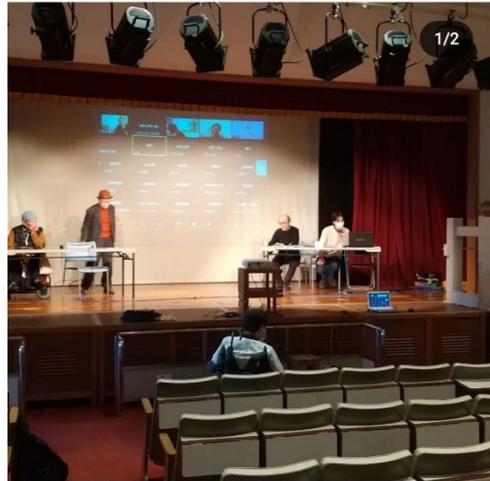
今年度の投稿は、これが最後です。

たくさん活動をご報告できて、良かったです。

今後ともよろしくお願いたします。



npodannai



npodannai 3月25日、大阪の豊中に「～学校の「あたりまえ」を問い直す～ 激論！コグトレ 松森VS山口」というイベントに参加しました。

「コグトレ」とは、通常学級についていけるようになるための認知トレーニングのことで、流行の兆しを見せているそうです。

コグトレ擁護派の山口さんと、反対派の松森さんが、牧口一さんのコーディネートで意見を戦わせるというものでした。

白熱した展開に見ごたえを感じながらも、お互いの主張にうなずきながら、あっという間の3時間でした。とはいえ、医学モデルの思考が強いコグトレが流行することは、障害当事者としては決して賛成できるものではなく、次なる展開を危惧せざるを得ません。

イベントの中ほどで山口さんが「本当に反対したいなら、障害当事者がもっと主張しないとけない、昔と比べて弱くなった」とおっしゃった言葉が胸に刺さりました。

滋賀県でも、復籍制度が流行りだすなど、見せかけのインクルーシブ教育がはびころうとしています。僕たちはもっとそれに怒りを見せるべきなのかとハッとさせられました。

多くのことを考えさせられる3時間でした。

ホームページをリニューアルしました！

NPO法人CIL だんない

トップ だんないとは ある一日 求人募集 法人概要

お問い合わせ

「だん」の「ない」社会へ
だんない



cil-dannai.jp



- 写真を多くするなど、活動内容が伝わりやすくなるよう工夫しました。
- スマホ・タブレットにも対応しています。
- 「だんないの道」電子版（PDF）も掲載しています。

ぜひご覧ください



挿絵・題字 五十嵐 美里 (いがらし みさと)

編集後記

今号もお読みいただき、ありがとうございました。

いよいよ新年度が始まりました。今年度も精力的に活動していきたいです。

私事なのですが、2018年の4月からアパートでの自立生活を始めて、5周年になりました。5年って、長いようで、でもあっという間だったなあという感じもします。

ある夜、アパートで音楽を聴いていて、BUMP OF CHICKENの「アカシア」という曲が流れてきました。「透明よりも綺麗なあの輝きを確かめにいこう／そうやって始まったんだよ たまに忘れるほど強い理由」という歌い出しで始まるその曲を聴いていると、なんだか僕には、地域で介助を受けながら自立生活をする障害当事者と、介助者のことを歌った曲のように聴こえて、僕が憧れる先輩当事者と、その介助者、いくつものカッコいい姿が頭に浮かびました。そして、繰り返し聴いていると、なんだかこれは、自分の中のもう一人の自分が、自分のために歌っているような曲でもあるし、身近で、あるいは離れた場所でも、目的を同じく活動している障害当事者仲間のために歌われている曲でもあるように思いました。紙面上で曲を流せないのがもどかしい…というか、この曲を表現する文章力がない自分がもどかしい！のですが、もし共感してくださる方がおられましたら、ぜひ谷口までご連絡ください。一緒にBUMP OF CHICKENのライブに行きましょう！（谷口）

NPO 法人CIL だんない

代表 美濃部裕道 副代表 中川佑希

理事 谷口健人、前田貴行、横山卓馬

URL : cil-dannai.jp

郵便振替口座番号：ゆうちょ銀行木之本支店

加入者名 : NPO 法人CIL だんない

〒529-0423

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

TEL : 0749-50-3639

FAX : 0749-50-3961

E-mail : info@cil-dannai.jp

00940-2-209115